



〈 佐倉を知る【三】 〉

～全部読んだあなたは佐倉通！！～

<p>長島茂雄 ～ 夢をかなえた ホームラン</p> <p>ブロンズ新社</p> <p>[K783ナ]</p>	<p>小林信也 著</p> <p>〈 小・高学年～ 〉</p>	<p>昭和11年の誕生から、昭和34年に行われた天覧試合までの、長嶋茂雄の活躍が描かれています。 長嶋氏の野球の始まりは、印旛沼のほとりで三角ベースで遊んだことです。それから佐倉中学、佐倉一校、立教大学からゴールデンルーキーとして巨人入りした長嶋氏の野球を柱として成長していく過程が、昭和中期までの世相とともに順序よく書かれています。 敗戦後の不安が大きい中、スポーツは日本国民の希望をふくらませるものであり、大きな心のよりどころの一つでした。そのような時代に育った長嶋氏は、「スポーツで人を喜ばせたい」という夢を持ち、絶えず球場で活躍する自分の姿を夢見るようになります。天真爛漫に野球の道に進んでいく姿はすがすがしさを感じさせます。長嶋氏は佐倉が生んだ国民のヒーローです。</p> <p>【佐倉学：長嶋茂雄】</p>
<p>和田中野球部物語</p> <p>[C78.3ワ]</p>	<p>和田中学校 野球部OB 監修</p> <p>〈 中学生～ 〉</p>	<p>今はなき和田中学校で野球の活動が盛んだったころ、佐倉中学校の野球部員が野球の指導に訪れました。このとき指導にあたった一人に、長嶋茂雄がいました。本書は長嶋氏が和田中野球部を指導した時の話が載っています。中学生におすすめです。</p> <p>【佐倉学：長嶋茂雄】</p>
<p>夢を力に</p> <p>ザ・マサダ</p> <p>[C78.2コ]</p>	<p>小出義雄 著</p> <p>〈 中学生～ 〉</p>	<p>無名ランナーだった有森裕子が、佐倉市出身で日本を代表する選手を数多く育ててきた小出義雄監督と二人三脚で、オリンピック2大会連続で、銀、銅とメダルを獲得するまでの道のりが著されています。 夢を見続け、夢に向かって疾走した有森選手は、佐倉市の岩名でトレーニングを積み、世界にはばたいた最初の選手です。夢を持ちそれを実現させるための営みの尊さを伝える作品です。</p> <p>【佐倉学：小出義雄】</p>
<p>小出義雄 夢に駆ける</p> <p>小学館</p> <p>[C78.2ミ]</p>	<p>満園文博 著</p> <p>〈 中学生～ 〉</p>	<p>オリンピック2大会連続獲得の有森裕子、世界陸上選手権女子マラソンで優勝した鈴木博美、シドニーオリンピックの女子マラソンで日本人初の金メダルを獲得した高橋尚子を育てた小出義雄監督は、日本女子マラソンの歴史を塗りかえ、今も尚、佐倉の地を拠点に陸上に情熱をかたむけ、選手を指導しています。 その偉大な功績を残した小出義雄監督は、佐倉市出身です。夢を追い続け、実現にむけて努力する大切さが著されています。</p> <p>【佐倉学：小出義雄】</p>
<p>高橋尚子 ～走る、かがやく、 風になる</p> <p>旺文社</p> <p>[K782夕]</p>	<p>早野美智代 著</p> <p>〈 小・高学年～ 〉</p>	<p>佐倉が育てたオリンピック選手「高橋尚子」の本です。所属が変わる以前は、大佐倉近辺を走る姿をよく見かけました。「走ることが大好き」という高橋選手は、自分の夢を叶えるために苦しい練習を続けてきました。夢を持つことのすばらしさ、そして、苦難に立ち向かう事の大切さを伝えてくれる本です。</p> <p>【佐倉学：高橋尚子】</p>
<p>激走！高橋尚子 シドニーを駆け抜けた 青春</p> <p>早稲田出版</p> <p>[C78.2マ]</p>	<p>増田明美 著</p> <p>〈 中学生～ 〉</p>	<p>2000年のシドニーオリンピックの女子マラソンで優勝した高橋尚子選手は、佐倉出身の小出監督の指導のもと、この佐倉で練習を積み、力をつけました。 小出監督との二人三脚をもとに、オリンピックで優勝するまでの軌跡が克明に描かれています。高橋選手と小出監督の人間性が鮮よくわかる作品です。</p> <p>【佐倉学：高橋尚子】</p>